

STAR

ブロードカスタ

取扱説明書・部品表

製品コード K30331 ・ K30365 ・ K30417 ・ K30371

型式 MBC2040・MBC2040-0S・MBC2040-3S・MBC2040-4S

製品コード K30332 ・ K30366 ・ K30418 ・ K30372

型式 MBC3040・MBC3040-0S・MBC3040-3S・MBC3040-4S

製品コード K30333 ・ K30367 ・ K30419 ・ K30373

型式 MBC4040・MBC4040-0S・MBC4040-3S・MBC4040-4S

部品供給型式 ABU2040-01

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社

SFAA

ご購入の皆様へ

このたび当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。

この取扱説明書は、正しい取扱方法と正しい調整点検について説明してあります。よくお読みいただき、日常の作業の安全に又この機械の末永いご使用のためにお役立てください。

安全作業のために、これだけはぜひ守りましょう。

本機は安全な作業を確保するため、安全カバーなどに十分な配慮がなされておりますが、ご使用にあたっては下記の事項及び本書の注意内容について、十分に注意をはらってください。

安全作業のお願い


1. 各部の点検・調整・給油・清掃などを行う時は、トラクタ（ティラー）エンジンを完全に止めてから始めてください。
2. トラクタ（ティラー）から離れる時は、エンジンを止めPTOを完全に止めてから駐車ブレーキ（輪留め）を、かけてください。
3. 作業内容に合った正しい服装と、保護具を着用してください。
4. 運転操作中、特に旋回・後退時には周囲に気をつけ、人を近づけないでください。
5. 作業の前後には各部を点検し、調整・給油・整備を十分に行ってください。
6. 取扱説明書に示す、正しい取扱方法によらない使い方をして、機械の損傷を招いたり、使用者が過失を起こしても、当社では責任を負いかねます。



部品の注文について

1. 部品のご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 機械名
- ② 部品供給型式
- ③ 部品番号
- ④ 部品名称
- ⑤ 個数

※ 部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「付」と表示している部品は、該当見番番号の部品が付属されております。

（例 2付、12、13付）

3. 使用型式により、部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表します。

例 BZ0815A(G)
└──────────┘ └──┬──┘ (メッキ仕上げ)

A ; ナット、Sワッシャ付



D ; ナット2個付


N ; ナット付


P ; ワッシャ付

W ; Sワッシャ付

(G ; メッキ仕上げ)

5. 個数欄の、の表示は次のことを意味します。

 …… シム等、組み込まれている個数が不明な部品

 …… Ass'y品に含まれる部品で、単品では供給しない部品

1. 各部の名称と組立要領

組立は、図-1と本書の内容を参考に、次の順序で行なってください。

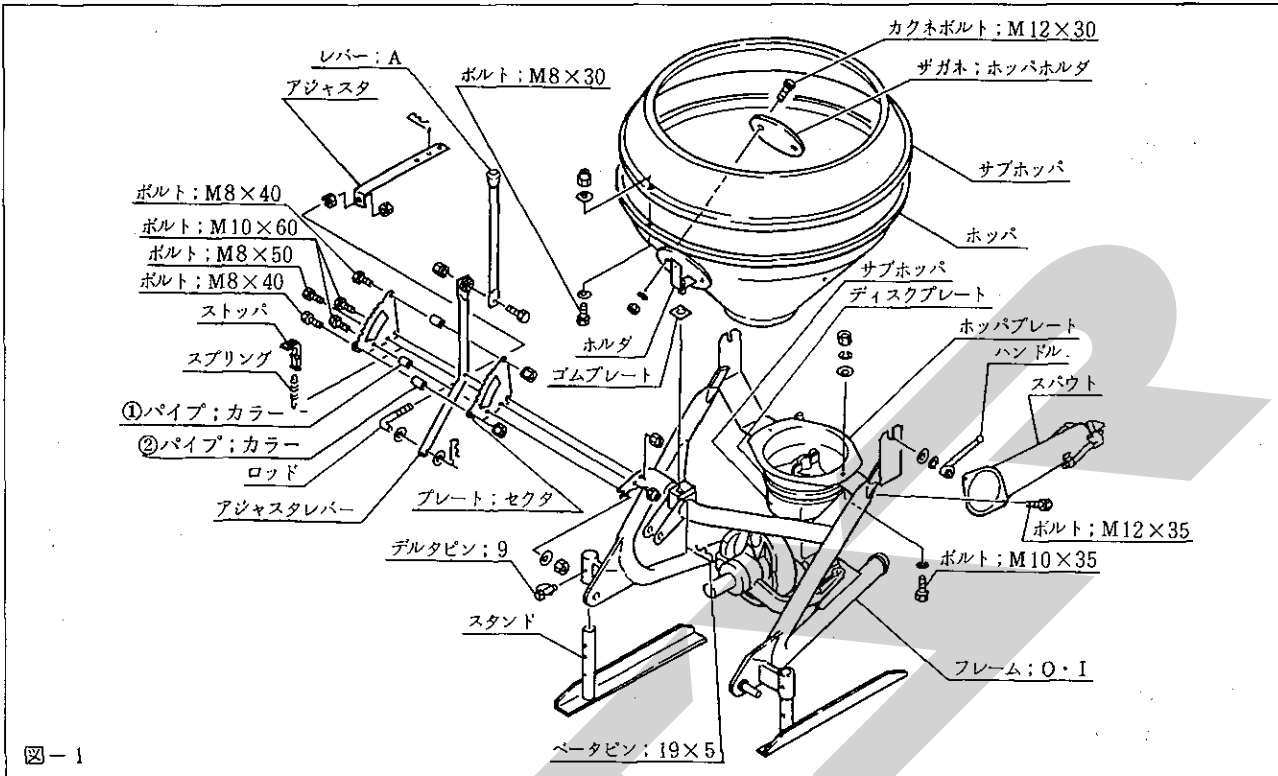


図-1

- (1) フレームにスタンドを装着します。(最上段の穴使用)
- (2) セクタに、②のパイプ; カラーを、ボルト・ナットで仮組し、①のパイプ; カラーとアジャスタレバーを、セクタに組み込み、フレームにボルト・ナットで固定します。
- (3) ストップに、バネを取り付け、セクタにバネを固定します。
- (4) アジャスタを、アジャスタレバー、ディスクプレートに取付けます。
- (5) ホッパに、ホルダとプレートを、ボルト・ナットで仮組し、フレームに取付け、ハンドル及び、ベータピンで固定します。この時、ホルダにゴムを取付けて固定します。
- (6) MBC 3040、4040はホッパにサブホッパを、ボルト・ナイロンナットで固定します。
- (7) 最後にスパウトを取付け、仮締めしたボルト・ナットを締め付けてください。

〈4Sタイプをご購入の皆様へ〉

…………… 図-2

- オートヒッチにサポート及びロッドを図-2の位置に組み付けてください。
- パワージョイントのラベルに表示してある要領で、パワージョイントを組み付けてください。

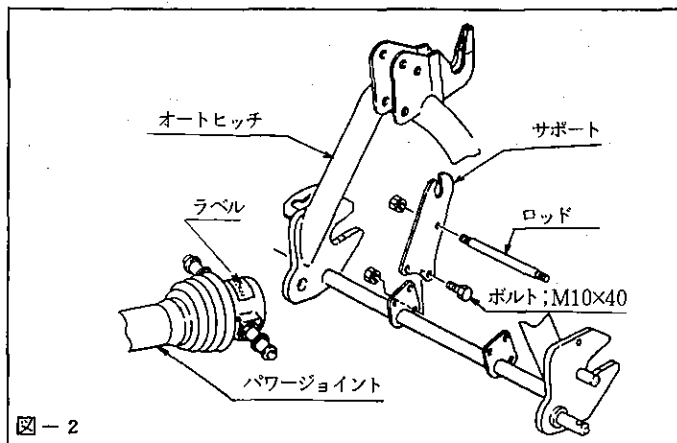


図-2

2. 肥料落下口の調整

シャッターレバー全開時に落下口が全開となるように、アジャスタねじ部にて微調整してください。

3. 作業

(1) スタンドの取り扱い

肥料積載時は、スタンドを図のように上にあげてください。(図-3)

(2) ジョイントの取り扱い

- ① 長過ぎる場合は、切断してください。切断面はヤスリなどで仕上げ、グリースを塗布してください。

(3) 肥料の投入

肥料の投入は圃場に着いてから行ってください。(移動中の振動による肥料の固まりを防ぐため)

作業前にホップ容量と散布を考慮し、あらかじめ圃場各所に肥料を置いておくこと能率のよい作業ができます。

<注意> 肥料を積載時はスタンドを上げてください。

(4) 散布量と開度調節

散布する前に下記事項を決め開度を決定してください。

- a) 散布する肥料の種類と散布量(次ページの表を参照してください。)
- b) トラクタ速度

※例 高度化成 10アール当り 60kg散布したい場合

トラクタ速度 6 km/hr で開度 5

トラクタ速度 10 km/hr で開度 6

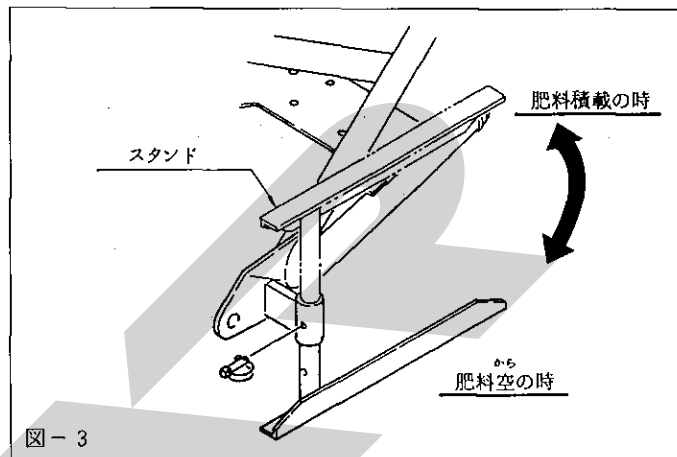


図-3

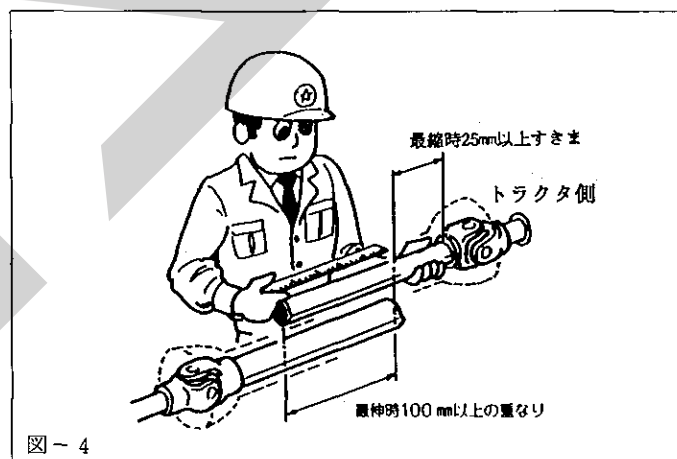


図-4

開 度 別 散 布 量

トラクタ速度に応じた散布量

(単位 kg/10a)

肥料	散布幅	速度	開度 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
粒 状	9 m	10 km/hr	—	4	12	22	40	60	90	120	150	180
		6 km/hr	—	7	20	37	67	100	150	200	250	300
砂 状	6 m	10 km/hr	10	27	51	84	126	186	270	348	420	500
		6 km/hr	16	45	85	140	210	310	450	580	700	830
粉 状	5 m	10 km/hr	7	30	63	93	126	156	186	216	252	282
		6 km/hr	12	50	105	155	210	260	310	360	420	470

開度が決まりましたら、その開度目盛にストップを合わせて作業してください。(ストップは持ち上げると簡単にミゾからはずれます。)

(5) 地上高と姿勢

- a) 粒状肥料、砂状肥料の散布はスパウトまでの高さが60～70cmになるようにトラクタ油圧でセットしてください。
- b) 粒状肥料の散布は肥料の飛散を防ぐようにセットしてください。(ただし、パワージョイントの角度が30°を越えないように注意してください。)

(6) P T O回転速度

作業時における常用P T O回転速度は、450～500rpmです。

これ以上の回転数では、絶対に使用しないでください。(但し、P T O変速は、1速で使用してください。)

なお、散布の際、シャッタを閉じたままP T Oを回さないでください。

(7) 種子の散布

牧草種子及び細粒種子の散播の際には、種子と同比重のもの(例：オガクズ)を増量剤として混合してください。増量剤を使用せず微量散布しますと、散布の均一性が悪くなります。

(8) 特殊肥料の散布

表以外の特殊肥料(鶏糞等)の散布時には、スパウト先端のブラケットを外して使用してください。

4. 3 S、4 Sタイプでのトラクタへの装着

3 S、4 Sタイプでのトラクタへの装着は、オートヒッチ3 Pフレームで簡単にできます。以下に示す要領で行ってください。

- (1) ブロードカスタ本体にスタンドをセットしてください。

(2) トラクタの3点リンクにオートヒッチ3Pフレームを取り付けます。

カテゴリ - O大のトラクタ …… ロワーリンク内側

カテゴリ - I のトラクタ …… ロワーリンク外側

(3) ロワーリンクの地上高が約40cm位で、オートヒッチ3Pフレームの姿勢が垂直になるように、トップリンクの長さを調節します。

(4) トラクタへの装置をスムーズに行うためチェックチェーンは、若干ゆるめに張っておきます。尚、作業時にはチェックチェーンを張ってください。

(5) オートヒッチ3Pフレーム上部ガイドがトップリンク部をすくい上げれる位置まで、トラクタをブロードカスタの中心に向けてゆっくりバックさせます。

次に油圧を上げてオートヒッチ3Pフレームとブロードカスタを合体させます。

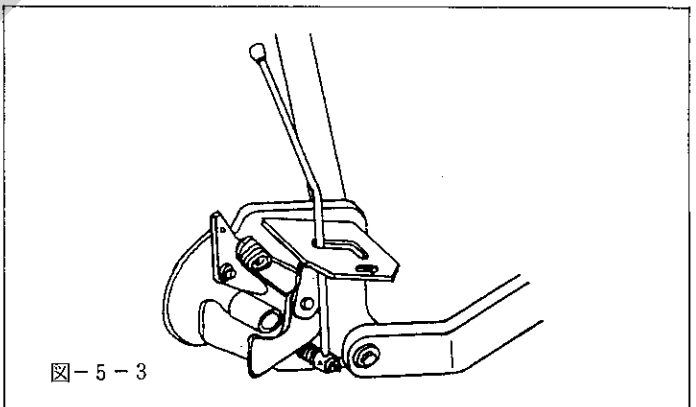
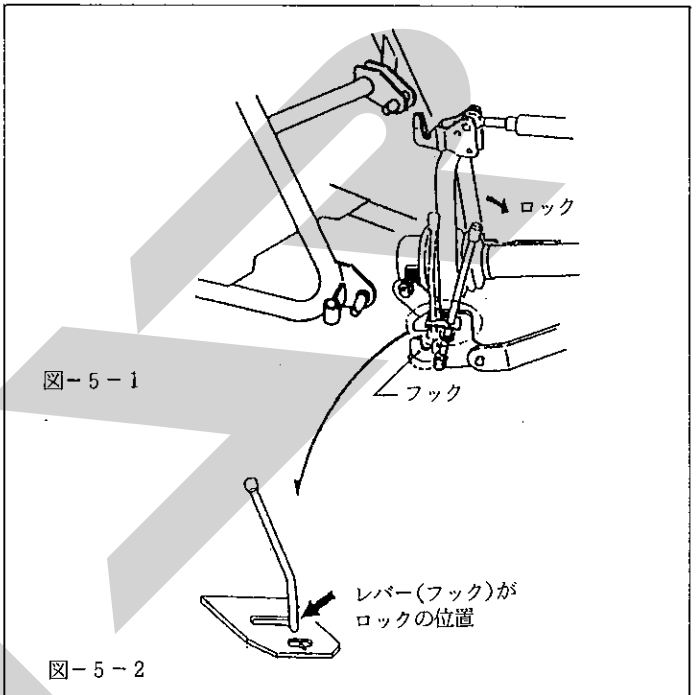
(図-5-1)

装着時、下部ガイドをロワーリンクピンに当てる必要はありません。

(6) ブロードカスタ装着後、オートヒッチ3Pフレームのレバーがロックの位置にあり、フックが掛っていることを確認してください。(図-5-2)

(7) ブロードカスタとオートヒッチ3Pフレームを外す時は、本体にスタンドをセットしてください。

次にオートヒッチ3Pフレームのフックをレバーで解除の位置にし、油圧を下げてください。(図-5-3)



注 意

ブロードカスタの着脱をする際は、平らな場所で行ってください。

5. オートヒッチの使用基準範囲

- 本機のオートヒッチは、日農工規格O I 兼用区分Bを採用しています。
- 本オートヒッチで他の作業機を装置する場合の使用基準範囲は、右記の通りです。

作業機重量	500kg以下
使用トラクタ	50PS以下

6. 保守・管理

- (1) 作業終了時は水洗いし、ホッパ内の肥料をきれいに流します。特にホッパプレートとディスクプレート間は、水洗い後、ホッパ内の水を切るためディスクプレートは開けておきます。
- (2) 攪拌軸、シャッターレバー支点などはマシン油を塗布してください。
- (3) パワージョイントのスパイダーヨーク、スプラインには作業前にシャーシグリースを塗布してください。

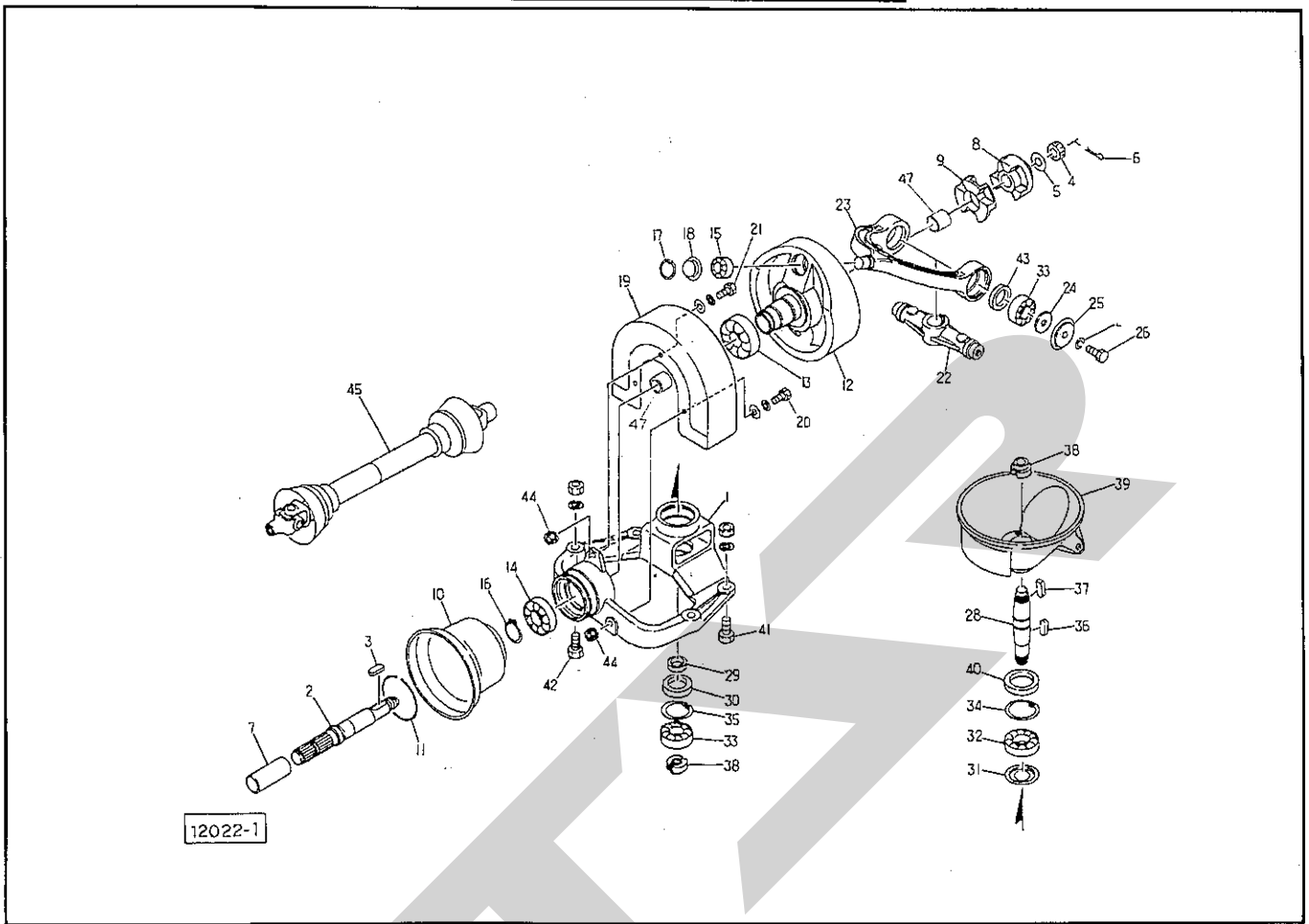
7. オプション

ブリッジ現象がおきやすい粉状肥料の散布にはアジデータの使用をお勧めします。アジデータは粉状肥料以外には使用しないでください。

〈お願い〉

付属の、**開度別散布量** のラベルをホッパの見やすい位置に、貼ってください。

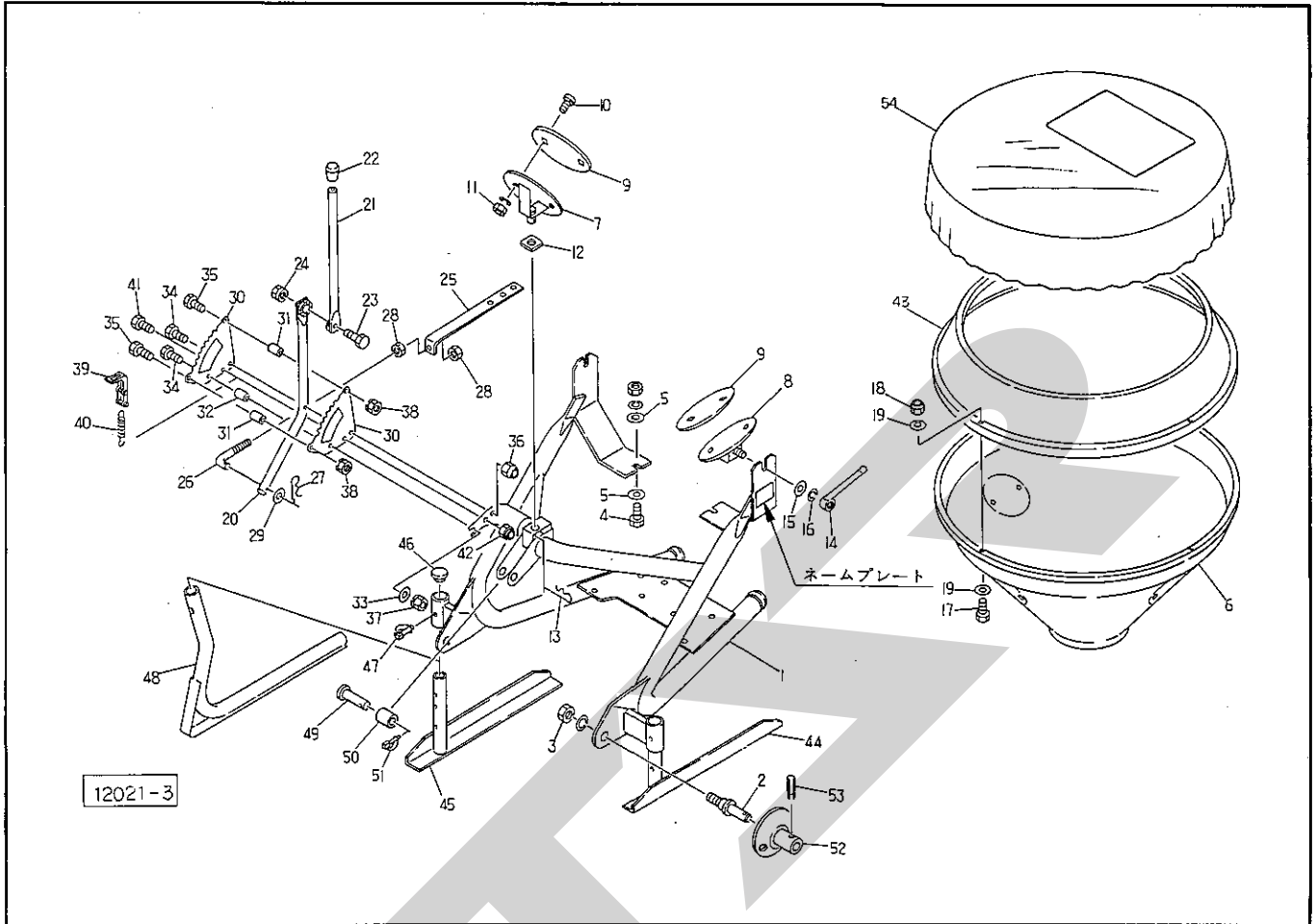
MBC 2040・3040・4040・ ブロードカスタ ハウジング



品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	92242	ハウジング	1	26	67856	ボルト; M10×25 (8.8)	2
2	101588	PICシャフト	1	●27	WS10G	Sワッシャ; M10	2
●3	KFB08070400	キー; 8×7×40 (片丸)	1	28	92281	シャフト	1
●4	NC2L20150G	キャスルナット; M20×1.5 (2種低型)	1	29	92341	カラー; 30×12	1
5	46001	ワッシャ; 20	1	●30	D40628	オイルシール; D40628	1
●6	PC4025G	ワリピン; 4×25	1	31	85082	カバー	1
7	00096	PICキャップ	1	●32	J6207LLU	ベアリング; 6207LLU	1
8	101587	カップリング	1	●33	J6206LLU	ベアリング; 6206LLU	3
9	92243	ゴムカップリング	1	●34	DHC72	スナップリング; H72	1
10	63972	PICカバー	1	●35	DHC62	スナップリング; H62	1
11	00826	リング; L	1	●36	KFC10080400	キー; 10×8×40 (両丸)	1
12	101589	フライホイール	1	●37	KFB10080350	キー; 10×8×35 (片丸)	1
●13	J6011LLU	ベアリング; 6011LLU	1	38	82316	カシメロックナット; M25×1.5	2
●14	J6010LLU	ベアリング; 6010LLU	1	39	92227	サブホップ	1
●15	J6205LLU	ベアリング; 6205LLU	1	40	92340	ダストシール	1
●16	DC50	スナップリング; S50	1	●41	BZ1460AG	ボルト; M14×60 (8.8)	2
●17	DHC52	スナップリング; H52	1	●42	BZ1445AG	ボルト; M14×45 (8.8)	2
18	43116	シールハウジング; 3	1	●43	D40558	オイルシール; D40558	2
19	92262	カバー; フライホイール	1	●44	NP08G	スプリングナット; M8	3
●20	BZ0850PWG	ボルト; M8×50 (8.8)	2	45	00612	パワージョイントSG-050	★ 1
●21	BZ0825PWG	ボルト; M8×25 (8.8)	1	47	LFB3525	ドライメットLFブッシュ; LFB-3525	2
22	92229	アーム; I	1				
23	92230	アーム; II	1				
24	75397	ワッシャ	2				
25	92339	カバー	2				

★ 0S・3S・4Sタイプを除く

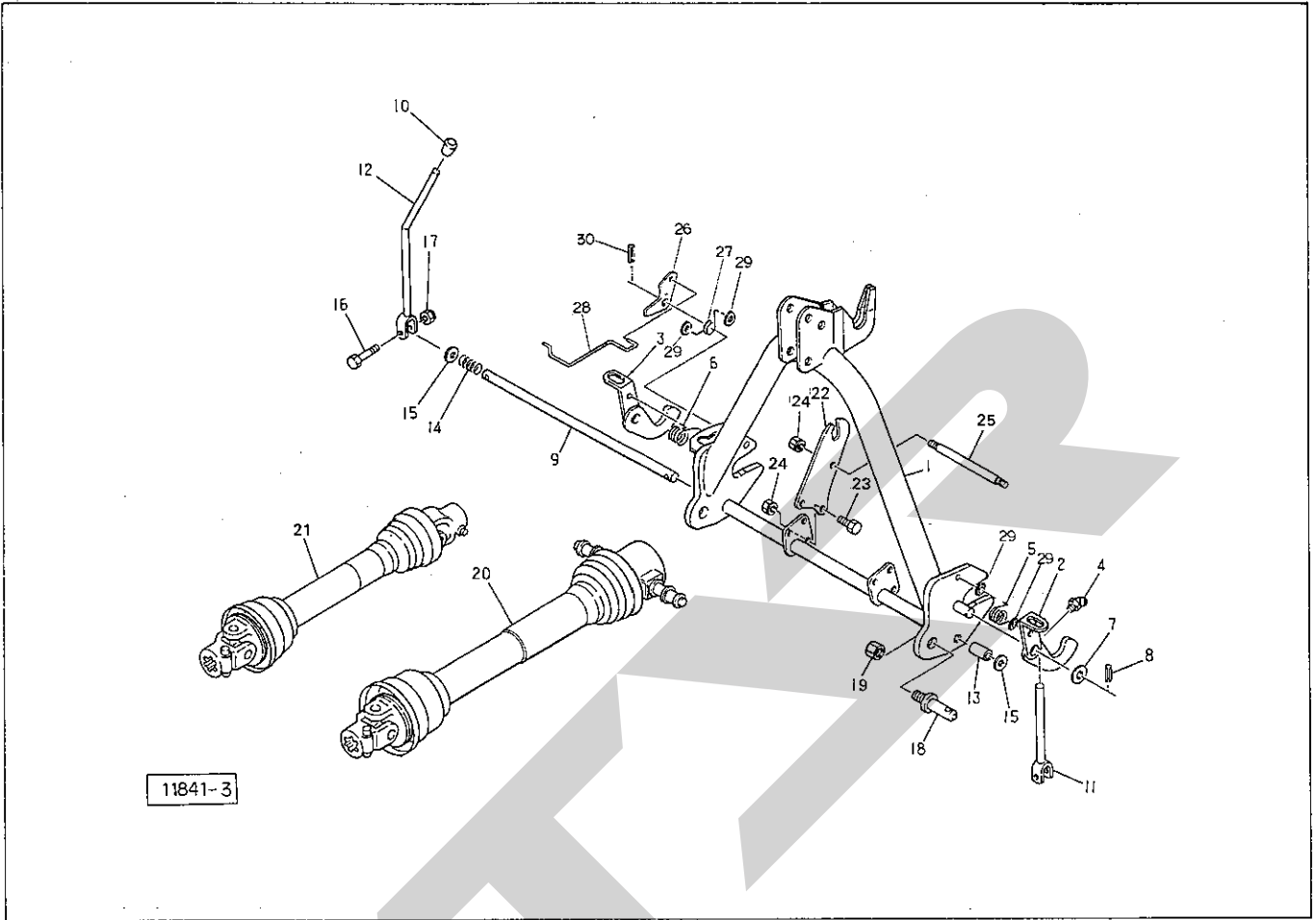
MBC2040・3040・4040 ブロードキャスト フレーム・ホッパ・レバー・サブホッパ



見 番 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数	見 番 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数
1	92355	フレーム; O・I	1	26	92333	ロッド	◎28付 1
2	00006	ローリンクピン; O・I	◎3付 2	27	00085	ベータピン; 8×1.6	1
●3	NZ22150WG	ナット; M22×1.5 (8)	2	●28	NZ10G	ナット; M10 (8)	2
●4	BC1035A	ボルト; M10×35 (ステンレス)	2	●29	WRA10G	ワッシャ; M10	1
5	82296	ワッシャ; 10 (ステンレス)	4	30	35180	プレート; セクタ	2
6	92370	ホッパ; 200	1	31	35028	パイプ; カラー	2
7	92379	ホルダ; F	1	32	35189	パイプ; カラー	1
8	92380	ホルダ	2	33	44098	ワッシャ; 10	1
9	35178	ザガネ; ホッパホルダ	3	●34	BZ1060G	ボルト; M10×60 (8.8)	2
10	00452	カクネボルト; M12×30 (8.8)	◎11付 6	●35	BZ0840G	ボルト; M8×40 (8.8)	2
●11	NZ12WG	ナット; M12 (8)	6	●36	NN10G	ナイロンナット; M10	1
12	74412	ゴムプレート	1	●37	NP10G	スプリングナット; M10	1
13	32910	ベータピン; 19×5	1	●38	NP08G	スプリングナット; M8	2
14	74738	ハンドル	2	39	35022	ストップ	1
15	42783	ワッシャ; 12	2	40	62688	スプリング; φ8.8×70	1
●16	WSA12G	Sワッシャ; M12	2	●41	BZ0850G	ボルト; M8×50 (8.8)	1
●17	BZ0830G	ボルト; M8×30 (8.8)	4	●42	NN08G	ナイロンナット; M8	1
●18	NN08G	ナイロンナット; M8	4	43	92371	サブホッパ; S	MBC3040用 1
●19	WRA08G	ワッシャ; M8	8		92372	サブホッパ; L	MBC4040用 1
20	92331	アジャスタレバー	1	44	92770	スタンド; L	★ 1
21	92285	レバー; A	1	45	92773	スタンド; R	★ 1
22	00688	ニギリ; 20	1	46	00851	キャップ; 28.6	2
●23	BZ1045G	ボルト; M10×45 (8.8)	1	47	00453	デルタピン; 9	2
●24	NP10G	スプリングナット; M10	1				
25	92332	アジャスタ	1				

☆ 0S・3S・4Sタイプ ★ 0S・3S・4Sタイプを除く

MBC2040・3040・4040 ブロードキャスト
 オートヒッチ3P, ジョイント



11841-3

見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	99596	オートヒッチ; (0.1)	◇ 1	26	99603	アーム	◇ 1
2	99600	フック; L	⊕4付◇ 1	27	99604	スプリング	◇ 1
3	99602	フック; R	⊕4付◇ 1	28	99605	ガイド	◇ 1
●4	ONBS6	グリークニップル; B-M6×1F	◇ 2	●29	WRA 06G	ワッシャ; M6	◇ 6
5	89217	スプリング; L	◇ 1	●30	PS 6032	スプリングピン; 6×3 2	◇ 1
6	89218	スプリング; R	◇ 1				
●7	WRA20G	ワッシャ; M20	◇ 2				
●8	PS6040	スプリングピン; 6×40	◇ 2				
9	89219	シャフト	◇ 1				
10	00722	ニギリ; 12	◇ 1				
11	89220	レバー; L	◇ 1				
12	89221	レバー; R	◇ 1				
13	99629	カラー	◇ 1				
14	89366	スプリング	◇ 1				
●15	WRA16G	ワッシャ; M16	◇ 3				
●16	BZ0635G	ボルト; M6×35 (8.8)	◇ 2				
●17	NN06G	ナイロンナット; M6	◇ 2				
18	00006	ローリンクピン; O・1	◇ 2				
●19	NZ22150WG	ナット; M22×1.5(8)	◇ 2				
20	89225	パワージョイント; QWM-050	▲ 1				
21	00613	パワージョイント; SG-060	△ 1				
22	90769	サポート	▲ 2				
●23	BZ1040AG	ボルト; M10×40 (8.8)	▲ 6				
24	NP10G	スプリングナット; M10	▲ 8				
25	90770	ロッド	▲ 1				

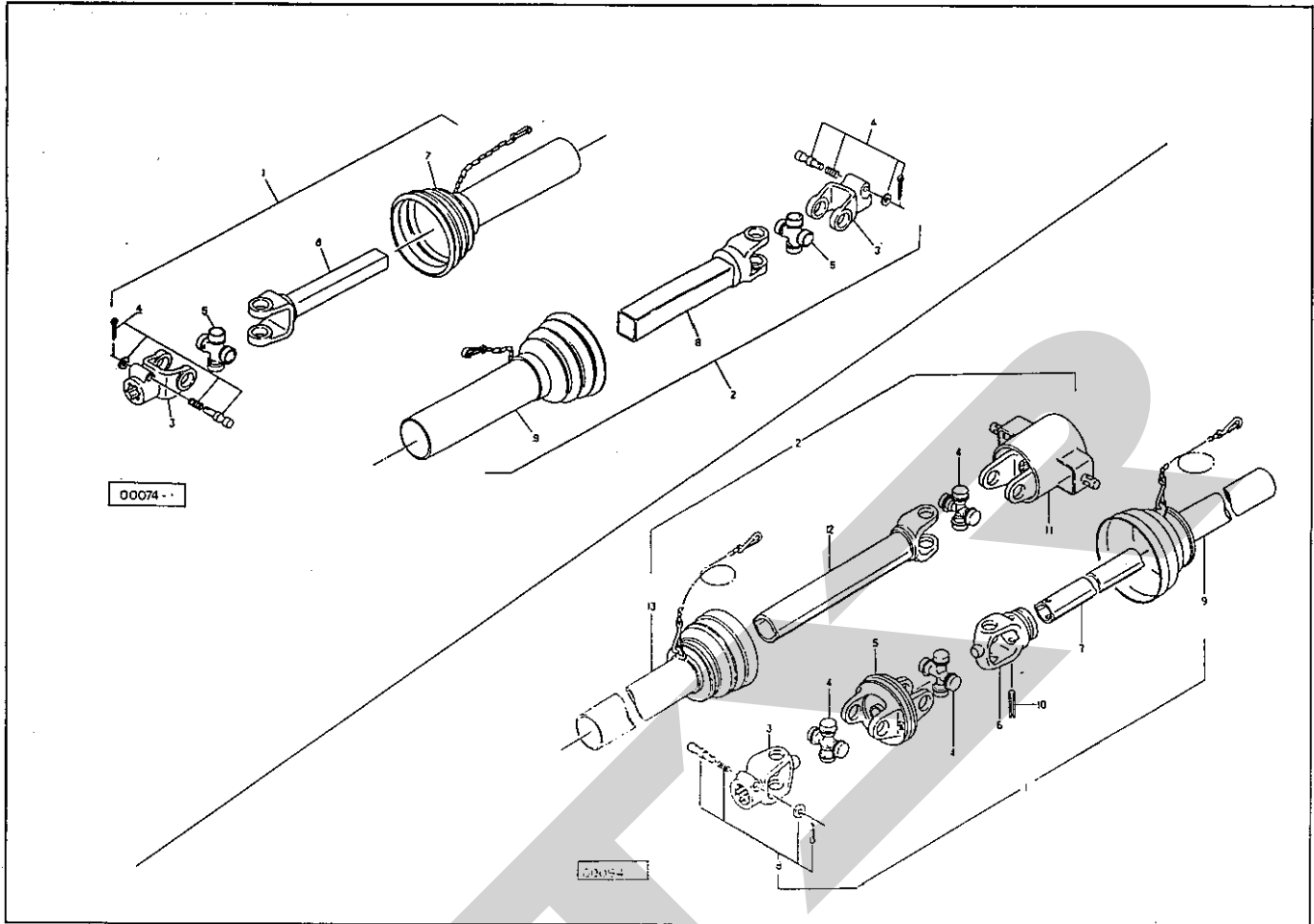
◇ 3S・4Sタイプ △ 3Sタイプ ▲ 4Sタイプ

SG-050・SG-060

パワージョイント

QWM-050

パワージョイント



見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
	SG-050	0S, 3S, 4Sタイプを除く			QWM-050	4Sタイプ	
ASY	00612	パワージョイント; SG-050	1	ASY	89225	パワージョイント; QWM-050	1
1	00612-1	パワージョイント(インナ); SG-050	1	1	6282-304	パワージョイント(インナ); WM-050	1
2	00612-2	パワージョイント(アウト); SG-050	1	2	89225-1	パワージョイント(アウト); QWM-050	1
3	00595	ピンツキヨーク; S ⊕4付	2	3	6226-8	ピンツキヨーク ⊕8付	1
4	00583	クランプピン; 14	2	4	6286-3	スパイダ; MD	3
5	00587	スパイダ; S	2	5	6312-1	CVヨーク	1
6	00612-3	パイプツキヨーク(インナ); SG-050	1	6	6228-7	フィッティングヨーク	1
7	00612-4	アンゼンカバー(インナ); SG-050	1	7	6216-301	パイプ(インナ)	1
8	00612-5	パイプツキヨーク(アウト); SG-050	1	8	6287-1	クランプピン	1
9	00612-6	アンゼンカバー(アウト); SG-050	1	9	6284-53	アンゼンカバー	1
				●10	PS10065	スプリングピン; 10×65	1
				11	47112	エンドヨーク	1
				12	6210-301	パイプツキヨーク	1
				13	6285-21	アンゼンカバー	1
	SG-060	3Sタイプ					
ASY	00613	パワージョイント; SG-060	1				
1	00613-1	パワージョイント(インナ); SG-060	1				
2	00613-2	パワージョイント(アウト); SG-060	1				
3	00595	ピンツキヨーク; S ⊕4付	2				
4	00583	クランプピン; 14	2				
5	00587	スパイダ; S	2				
6	00613-3	パイプツキヨーク(インナ); SG-060	1				
7	00613-4	アンゼンカバー(インナ); SG-060	1				
8	00613-5	パイプツキヨーク(アウト); SG-060	1				
9	00613-6	アンゼンカバー(アウト); SG-060	1				

SFAA

- 本 社 066 千歳市上長都1061番地2
 TEL 0123-26-1123
 FAX 0123-26-2412
- 小山事業所 307-02 栃木県小山市梁2512-1
 TEL 0285-49-1400
 FAX 0285-49-1410
- 千歳センター 066 千歳市上長都1061番地2
 TEL 0123-26-1126
 FAX 0123-23-0517
- 小山センター 307-02 栃木県小山市梁2512-1
 TEL 0285-49-1430
 FAX 0285-49-1440
- 札幌営業所 066 千歳市上長都1061番地2
 TEL 0123-22-5131
 FAX 0123-26-2035
- 旭川営業所 070 旭川市神楽4条9丁目3番31号
 TEL 0166-61-6131
 FAX 0166-62-8985
- 豊富出張所 098-41 天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地
 TEL 0162-82-1932
 FAX 0162-82-1696
- 帯広営業所 080-24 帯広市西22条北1丁目12番地
 TEL 0155-37-3080
 FAX 0155-37-5187
- 北見出張所 090 北見市小泉302
 TEL 0157-24-3880
 FAX 0157-61-1344
- 中標津営業所 086-11 標津郡中標津町北町2丁目16番2
 TEL 01537-2-2624
 FAX 01537-3-2540
- 盛岡営業所 020-01 岩手県盛岡市みたけ2丁目4番7号
 TEL 0196-41-4811
 FAX 0196-41-5529
- 仙台営業所 985 宮城県多賀城市町前2丁目87番地
 TEL 022-367-4573
 FAX 022-367-4846
- 関東営業所 307-02 栃木県小山市梁2512-1
 TEL 0285-49-1500
 FAX 0285-49-1560
- 名古屋営業所 480-01 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191
 TEL 0587-93-6888
 FAX 0587-93-5416
- 松本出張所 399 長野県松本市芳野14番10号
 TEL 0263-27-0897
 FAX 0263-27-1449
- 岡山営業所 700 岡山県岡山市下中野704-103
 TEL 086-243-1147
 FAX 086-243-1269
- 熊本営業所 862 熊本県熊本市長嶺町2255-429
 TEL 096-381-7222
 FAX 096-384-3525
- 南九州営業所 885 宮崎県都城市都北町3537-1
 TEL 0986-38-1045
 FAX 0986-38-4644